

平成 26 年度 屋代高等学校・附属中学校《学校評価表》

学校番号 25 長野県屋代高等学校・附属中学校

学校教育目標(普遍的教育目標)	
教育基本法に則り、創立以来の質実剛健の校風を継承して次の三綱領を定める。 1 学力の充実と、知性の啓発に努める。 2 自主独立の気風を養い、創造性を育成する。 3 情操豊かな人間性を陶冶し、健康な身体を錬成する。	
長期的な視野に立った教育目標	
生徒、保護者、地域の期待に応えられる、新しい学校づくりに努め、「魂の故郷」としての学校になり得る充実した教育活動を行う。 1 旧制中学校から引き継がれた学問の伝統(科学的探求心・実験的精神)を発展的に継承する。 2 質実剛健の校訓のもと、激しい変化の時代にたくましく生きていける力を育てる。 3 保護者、地域、同窓会との連携を図り、開かれた学校づくりを行う。	
平成 26 年度重点目標	
自由な校風のもと、生徒が自主的自律的に学業・班活動・生徒会活動に取り組み、学力や個性を伸張できるよう惜しみない指導支援を行う。 1 生徒の進路希望実現に向けて、進路指導体制を検討し発展を図る。 2 本校の教育効果を高め、理数教育を充実させるために、新教育課程の更なる研究を行う。 3 魅力ある、質の高い授業を提供できるよう、教科指導の研鑽に努める。 4 健康で、元気な学校生活を送れるよう、生徒の人権を尊重した教育活動、いじめや体罰のない安心安全な学校づくりを目指す。 5 屋代高校と附属中学校の特色をアピールできるよう、小中学生や地域に対して積極的に情報発信を行う。	

平成 26 年度教育活動に対する評価の観点と評価

評価項目	評価の観点	評価の材料
キャリア教育	キャリア教育体制を検討し発展させることができたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・大学企業見学の生徒アンケート ・進路研修会についての職員アンケート
	進路情報を生徒・保護者に向け有効に発信できたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒・保護者アンケート
	全教科にわたる総合的学力を養成し、国公立大学を中心に進路実現の可能性を拡げることができたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・センター試験 5-6、5(6)-7 形成率(できるだけ多くの科目を受験させる指導)
	生徒の学力や生活実態などの情報を把握し、それを集団と個々に応じた指導に活かすことができたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・模試、生活実態調査、進路検討会などの実践
学習指導	魅力ある、質の高い授業を提供できるよう教科指導の研鑽に努めることができたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・教員相互の授業公開・参観 ・授業アンケートの実施
	生徒の学習実態調査(家庭学習時間など)の結果を分析・研究することができたか。また、分析・研究の結果を指導に活かすことができたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習実態調査、生活実態調査等の分析・研究
生徒指導	通学中の交通事故をなくす努力ができたか。いじめや暴力のない安全な学校生活を送るための啓発活動ができたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・事故数の経年比較 ・街頭指導、安全教育の実施 ・全校集会や学年通信を使っでの呼びかけ
生徒会	質実剛健の気風を大切に、執行部と各会員が一体となった自主活動のための指導支援ができたか。生徒一人ひとりが、生き生きとした活動ができたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭、クラスマッチ等、生徒会活動の達成度 ・クラブ(運動班、学芸班)の加入率
校内美化	清掃用具の充実を図ると共に、生徒が自主的に校内美化を進められるように、指導・支援を行うことができたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃用具の定期的な点検と更新 ・清掃委員会、厚生委員会を中心とした活動
人権教育	すべての教育活動が人権教育を基盤として行われ、いじめや体罰のない安心安全な学校づくりにつながったか。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の人権教育研修(講演会、HR等) ・職員の人権教育研修 ・生徒・保護者アンケート
学校運営	魅力ある学校づくりに向け、教育課程やSSHのプログラムについて研究を行うことができたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒・保護者等アンケート ・関係する分掌での研究
	本校の教育活動の成果を、保護者、小中学生、地域に伝え、特色ある学校として理解してもらうことができたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業公開、学校説明会、体験入学、小中学校訪問の実施、小中学生へのアンケート ・ホームページ情報更新、広報活動の充実

以上について、教職員による中間評価、外部アンケート(生徒、保護者等)の結果および学校関係者評価(学校評議員、PTA 役員等)を基に教職員自ら行う年度末評価により、その成果と課題を示していく。